***「２０１９年度研究開発型ベンチャー支援事業／橋渡し研究開発促進による事業化支援」***

***提案書作成にあたって***

***総括的注意***

***注１．提案書は、添付書類を含め、全てＡ４サイズとして下さい。（会社案内等もＡ４サイズでない場合は、Ａ４サイズにコピーして下さい）***

***注２．各部（正本１部、写し３部）ごとに左上をダブルクリップで止めて下さい（ステープラー等で綴じたり、製本したりしないで下さい）。また全てに縦二穴パンチ穴をあけて下さい。***

***注３．申請書の項目を削除しないで下さい。（ただし、本ページ及び次ページ以降青字イタリック体で記入されている申請書の注意事項及び記載例は、削除して下さい）***

***注４．特に注意がない場合は、項目間の行間は、適宜変更して下さい。***

***注５．記入に際しては、簡潔明瞭を旨とし、提案書のボリュームが大きくならないよう配慮して下さい。***

***注６．提案書の作成にあたり記入上の注意（イタリック体部分）をよく読んで下さい。また、各項目の記入上のポイントにはアンダーラインを付けていますので、これに沿って提案書を作成して下さい。***

***注７．提案書の作成にあたり、公募要領を必ず確認して下さい。提案書の記入内容について注意事項があります。***

***注８．正本１部は片面印刷とし、写し３部は両面印刷として下さい。***

***（提出にあたって、本ページは削除して下さい）***

（様式第1）

年 月 日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

 理事長

提案者 住 　所

***・代表者名には、役職・氏名を記載してください。***

***・代表者は会社の代表権のある方とします。***

***・印は社印と代表者の印と２種類必要です。***

名 　称

代表者名　　　　　　　　印

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radにおける研究機関コード（１０桁） |  |

# 課題設定型産業技術開発費助成金交付提案書

（２０１９年度研究開発型ベンチャー支援事業／橋渡し研究開発促進による事業化支援）

　上記の件について、課題設定型産業技術開発費助成金の交付を受けたいので、新エネルギー・産業技術総合開発機構課題設定型産業技術開発費助成金交付規程 第7条第1項の規定に基づき下記のとおり提案します。

記

1. 助成事業の名称

***事業内容が分かる短く簡潔な名称とし、40字以内で記入してください。「」はつけないで下さい。***

2. 助成事業の概要

***助成による事業内容を、全体計画概要及び2019～2020年度の内容を200字～250字以内で記入してください。Web公開する場合がありますので、対外的に公表して差支えない内容としてください。***

3. 助成事業の総費用 ***000,000,000***円***（2019年度と2020年度の合計額）***

　　 ２０１９年度分　　***000,000,000***円

　　 ２０２０年度分　　***000,000,000***円

***・本様式を含み、提案書に記入の費用は全て消費税抜きにて記入して下さい。***

***・助成事業に要する費用の金額を記入してください。（別紙２）助成事業項目別明細表に記載の金額と一致させてください。***

***・金額は、150,000,000円のように記入してください。150,000千円、15000万円、１億５千万円等の記入はしないでください。***

4. 助成金交付提案額 ***000,000,000***円 ***（2019年度と2020年度の合計額）***

　　 ２０１９年度分　　***000,000,000***円

　　 ２０２０年度分　　***000,000,000***円

***・本交付提案で提案する助成金の金額を記入してください。（別紙２）総括表、（別紙２）助成事業項目別明細表に記載の金額と一致させてください。***

***・金額は、150,000,000円のように記入してください。150,000千円、15000万円、１億５千万円等の記入はしないでください。***

5. 補助率　２/３以内

6. 助成事業の開始及び終了予定年月日

　　　　　開始年月日　　　　　　 交付決定通知書に記載する事業開始の日から

　　　　　終了予定年月日　　　　 ２０２０年３月３１日

 　延長した場合の終了予定年月日 事業開始の日から最長で２０２１年２月２６日まで

7. 連絡先

担当者所属

役職・氏名

郵便番号、住所

電話番号

ＦＡＸ番号

Ｅメールアドレス

緊急連絡先***（必ず連絡が取れる電話番号を記載して下さい）***

***※提出の際には斜体青文字はすべて削除してください。***

（添付資料1）

# 助成事業内容等説明書

## 1. 助成事業の名称

***「様式第1　1．助成事業の名称」の欄に記載したとおりに記載してください***

## 2. 提案者の概要

### (1)提案者名、住所、電話番号

 提案者名（法人）名：

法人番号(13桁)：

住　　所：

電話番号：

### (2)資本金

資本金：***00,000***　千円

株主（上位５名）

　　　　　株主　 １．***（株）○○***　 　　　（持株比率　○○％）

 ２．***□□　□□***　　　　（持株比率　○○％）

 ３．***（有）△△*** 　　　　（持株比率　○○％）

 ４．***××（株）***　　　　（持株比率　○○％）

 ５．***××（株）***　　　　（持株比率　○○％）

※株主のうち、法人株主について、以下の表に記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 株主企業名 | 大企業・中堅企業・中小企業区分 | 資本金額（千円） | 従業員数（人） | 売上高（百万円） | 主たる業種（日本標準産業分類、中分類） |
| ***（株）○○*** | ***大企業*** | ***1,000,000*** | ***1,500*** | ***200,000*** | ***製造業*** |
| ***（有）△△*** | ***中小企業*** | ***10,000*** | ***30*** | ***100*** | ***サービス業*** |
| ***××（株）*** | ***中堅企業*** | ***200,000*** | ***300*** | ***50,000*** | ***卸売業*** |
|  | 　 | 　 | 　 |  | 　 |
|  | 　 | 　 | 　 |  | 　 |

※個人投資家も資金管理団体等を通して投資する場合は業として投資をしているとみなします。

***※総務省のホームページで記される日本標準産業分類（***[***http://www.soumu.go.jp/toukei\_toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01\_03000023.html***](http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01_03000023.html)***）***

### (3)役員一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 役職名 | 備考 |
| ***根戸　太郎*** | ***代表取締役社長*** | 　　 |
| ***研開　次郎*** | ***取締役*** | ***△△株式会社　川崎市幸区　取締役*** |
|  |  | 　 |
|  |  | 　 |

※大企業の役員又は職員を兼ねている場合は、備考欄にその会社名、所在地、役職名を記入して下さい。

### (4)従業員数

従業員数：***○○***人

うち研究開発部門従事者数：***○○***人

***従業員数は、「常時使用する従業員の数」をいい、家族従業員、臨時の使用人、法人の役員、事業主は含みません。又、他社への出向者は従業員に含みます。***

### (5)売上高

　　　　　***00,000***　百万円　***直近の決算報告等の売上高を記載して下さい。***

### (6)決算日

　　　　　***○***月　***○***日

### (7)設立年月

　　　　　***○○○○***年***○***月

### (8)現在の主要事業内容（主な製品等）

主たる業種：

主たる業種の分類コード：

主な製品等：

***下記の総務省のホームページで記される日本標準産業分類から貴社の業種を選んでください。（***[***http://www.soumu.go.jp/toukei\_toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01\_03000023.html***](http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01_03000023.html)***）***

***下記「日本標準産業分類」の分類コードから貴社の業種コードを選んでください。***

[***https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10***](https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10)

***現在の事業内容（主な製品等）を記入してください。***

### (9)J-Startup認定

***提案時点でJ-Startupに認定されている企業は、□にチェックしてください。***

□　J-Startup認定

## 3. 研究開発の体制等

### (1)研究組織（図示すること）

#### ①研究開発体制

橋渡し研究機関

提案者

共同研究先

注）共同研究先となる橋渡し研究機関を必ず記入して下さい。

橋渡し研究機関以外

共同研究先

注）橋渡し研究機関以外を共同研究先とする場合は記入して下さい。（助成費用の対象外です）

助成費用対象外

***・企業の場合（委託先等は除く）は、下記の表に必要事項を記載してください。会計監査人の設置については、会社法３３７条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。なお、大会社、委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができます。設置されている場合は公認会計士または監査法人名を記載してください。***

【体制一覧】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名 | 従業員数 | 資本金 | 大企業･中堅・中小・ベンチャー企業の別 | 会計監査人名 |
| ○○○株式会社 |  |  |  |  |
| △△△株式会社***従業員数、資本金は応募時点を基準としてください。*** |  |  | ***会計監査人の設置がない場合は******”なし”と記入ください。*** |  |
|  |  |  |  |  |

#### ②各組織の役割

##### (i)　全体の目標

***本事業の目標を簡潔に記載して下さい。***

##### (ii)　提案者の役割

***本事業の目標の達成のために、提案者が担う役割を簡潔に記載して下さい。***

##### (iii)　橋渡し研究機関の役割と協力項目

　　***本事業の目標達成のために、橋渡し研究機関が担う役割を簡潔に記載して下さい。***

### (2)研究開発の実施場所

（別紙１に記載）

### (3)主任研究者の氏名、職名、所属、及び連絡先

（別紙１に記載）

### (4)研究開発に従事する人員（登録研究員）

（別紙１に記載）

***(2)～(6)および(7)-②の内容は別紙1に記載してください。***

### (5)他からの指導者又は協力者

（別紙１に記載）

### (6)経理担当者の氏名、職名、所属、及び連絡先

（別紙１に記載）

### (7)共同研究先となる橋渡し研究機関の確認状況および連絡先等

#### ①共同研究先となる橋渡し研究機関の確認状況

橋渡し研究機関の名称：***橋渡し研究機関の名称を記載してください。***

□確認済み（確認番号：***例）２７Ｈ１１１１***）

　　□同時申請

***・上記のうち、当てはまるものに、チェック（☑）をいれて下さい。***

***・共同研究先が橋渡し研究機関として確認され、確認番号を有する場合は、確認済みの欄にチェックし、確認番号を記入して下さい。***

***・共同研究先が「橋渡し研究機関」の確認を受けておらず、今回同時申請する場合は、同時申請の欄にチェックして下さい。***

***・共同研究先となる橋渡し研究機関が複数の場合は、機関ごとに記入して下さい。***

#### ②橋渡し研究機関の連絡先等

（別紙１に記載）

## 4. 研究開発の内容等

### (1)具体的ニーズと使用が予定される環境（マーケットの現状及び将来の規模、競争環境）

（添付資料3　企業化計画書　に記載）

### (2)研究開発の目標

（添付資料2　実施計画書　に記載）

### (3)上記目標設定の理由

（添付資料2　実施計画書　に記載）

***(２)～（４）までの内容は添付資料２　実施計画書に記載してください。***

### (4)研究開発の内容（(2)の目標を達成するために必要な研究開発の内容を説明すること。）

（添付資料2　実施計画書　に記載）

### (5)研究開発の独創性・新規性の根拠

#### 事業化の基盤となる取得特許、ノウハウ等の内容（代表的特許等のコピーを添付すること。橋渡し研究機関が保有している特許に係る提案者の使用許諾等の状況を記載して下さい。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特許の名称（最新状況） | 出願番号（出願日）（公開、公告、登録のうち最新のもの） | 出願人 | 発明者 | 係争の有無 | 明細書等の写し |
| *○の装置**（特許取得済）* | *特許第▲▲号**（登録日H▲．▲．▲）* | *◇◇**株式会社* | *根戸太郎**根戸次郎* | *無し* | *特許１* |
| *△の方法**（審査請求中）* | *特願××××－××××××**（H▲．▲．▲）* | *◇◇**株式会社* | *根戸太郎* | *無し* | *特許２* |

***特許の最新状況については、「審査請求中」、「特許取得済み」等を記入して下さい。***

***また、特許の出願人及び発明者（提案書に記入されている全員）を記入して下さい。***

***自社特許でない場合、基となる特許の使用許諾を受けているか、あるいは専有実施権の有無を記入して下さい。***

***明細書等の写しを添付しない場合は上記表の「明細書等の写し」の欄に「無し」と記入して下さい。***

***できる限り資料が厚くならないように工夫して下さい。***

#### ②国内・国外他社における関連特許の取得状況

***国内外他社における関連特許の取得状況を記入して下さい。***

#### ③内外における技術との相違及び内外における特許との関連

***自社が保有する知財の競合他社に対する優位性および権利侵害の可能性を述べてください。***

#### ④事業化の基となる技術を生み出したプロジェクト等

***本事業の基となる技術を生み出したプロジェクト等があれば記載して下さい。***

### (6)他の補助金制度等による交付金受給の有無

#### ①補助金制度等による受給を受けた事業（提案時点で補助金を受け実施中の内容も含む。）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |
| 制度の名称 | *平成○○年度××開発補助金* |
| 採択者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *平成　年　月　日　～平成　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の概要（目標・成果） | *詳しく、明瞭に記述して下さい。* |
| 本提案との差異 | *本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入して下さい。* |

***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発で国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等からの委託（再委託を含む）又は補助金交付を受けたことがある場合、その概要を記入して下さい。***

***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入して下さい。***

***無い場合には、「無し」と記入して下さい。（「無し」の場合、表は削除して下さい。）***

***記入内容としては、実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、成果（特に実用化した場合の事業展開）、本提案との差違を記入して下さい。***

***記入等の不備により、類似・同一の研究開発で補助金等の受給が判明した場合は、虚偽の提案として審査の打ち切り、交付決定後の場合でも交付決定の取り消し等を行うことがあります。***

***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

#### ②補助金制度等による受給を提案中又は提案予定の事業

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |
| 制度の名称 | *平成○○年度××開発補助金* |
| 提案者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *平成　年　月　日　～平成　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の概要（目標） | *詳しく、明瞭に記述して下さい。* |
| 本提案との差異 | *本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入して下さい。* |

***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発を、国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等に現在提案中、あるいは提案を予定している場合、その概要（実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、目標、本提案との差違等）を記入して下さい。***

***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入して下さい。***

***無い場合には、「無し」と記入して下さい。（「無し」の場合、表は削除して下さい。）***

***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

### (7)その他

#### ①キーワード

***御提案いただく研究開発テーマの内容を容易に推定できるキーワードを３語程度記載して下さい（必須）。***

(1)技術キーワードとして、当該実用化開発（自社が開発しようとしている内容に関連する　　　最も重要と思われる技術）の「キーワード」を重要なものから順に記入して下さい。

＜別添集＞「別添１」から必ず１つは選択し、その該当数字をキーワードの前につけて記入して下さい。

＜別添集＞「別添１」に無いキーワードは、本欄に記入せず、（４）フリーキーワードに記入して下さい。

(2)専門学術キーワードとして、本テーマの対象となる専門学術分野（学会名）について、＜別添集＞「別添２」に記載があるキーワードは、その該当数字をキーワードの前につけて記入、無いものはキーワードのみ記入して下さい。

(3)事業化キーワードとして、製品分野･サービス展開上のキーワードを記入して下さい。

(4)フリーキーワードとして、(1)～(3)以外の語句を記入して下さい。

＜重要＞

記入されたキーワード（特に（１）技術キーワード）は、提案内容を評価する外部専門家を、適切な専門分野から選定する際の必須情報として用います。必ず記入してください！！

##### a.技術キーワード（１つ以上必ず記入すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1)***例）4365*** | ***EL,有機EL,高分子LED*** | (2)***例）4385*** | ***発光、蛍光*** | (3)***例）9080*** | ***起業、ベンチャー*** |
| (4) |  | (5) |  | (6) |  |

##### b.専門分キーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：106 電子情報通信学会*** |  | ***例：日本光学会*** |

##### c.事業化キーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：ユビキタス社会*** | ***例：街頭広告*** |  |

##### d.フリーキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：３Ｄ画像技術*** |  |  |

#### ②専門用語の解説

***・提案書に記載された専門用語について、特に必要と思われるものについて、簡単に説明して下さい。***

***記載が不要の場合は「特になし」と記載してください。***

## 5. 研究開発に係る長期計画

### (1)研究開発実施日程長期計画

#### ①事業期間

　　　　　開始年月日　　　　　　 交付決定通知書に記載する事業開始の日から

　　　　　終了予定年月日　　　　 ２０２０年３月３１日

 　延長した場合の終了予定年月日 事業開始の日から最長で２０２１年２月２６日まで

#### ②実用化開発日程表

（添付資料2　実施計画書に記載）

### (2)研究開発費長期計画（単位：円）

助成事業者：***〇〇〇株式会社　提案者名を記入ください。***

***収入の合計は支出の合計と一致させてください。***

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 助成対象費目 | 2019年度 | 2020年度 | 計 |
| 支出 | Ⅰ．機械装置等費 |  |  |  |
| Ⅱ．労務費 | ***支出の項目は別紙2の総括表の金額を転記してください。*** |  |  |
| Ⅲ．その他の経費 |  |  |  |
| IV．委託費・共同研究費 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |
| 収入 | 自己資金***助成金の額以外の自己負担となる1/3の費用を自己資金、借入金、その他収入のどれで捻出するのかを記入して下さい。*** |  |  |  |
| 借入金 |  |  |  |
| その他の収入 |  |  |  |
| （小計） |  |  |  |
| 助成金の額 |  |  |  |
| 合計 |  |  | ***助成金の額は別紙2の総括表の金額を転記してください。*** |

（注）　助成金交付提案額については、千円未満の端数を切り捨てること。

　　　　　　　助成事業開始から終了までの開発費を記入してください。

### (3)研究開発期間における資金計画

|  |  |
| --- | --- |
| 助成事業に要する費用（万円） | 助成事業に要する費用についての資金計画 |
| ***９，０００*** | **・自己資金　２,０００万円（残高証明書参照）****・○月○日頃　増資　５,０００万円（VCの推薦書添付）****・○月○日頃　○○銀行より融資　２,０００万円（融資証明書添付）** |

***上記表を補足するため、必要な資金をいつどのように確保するか簡潔に記入してください。***

***※上記表の「助成事業に要する費用」の金額は（様式第１）提案書「３．助成事業の総費用」と一致させてください。***

***また、「助成事業に要する費用についての資金計画」の内容は助成事業に要する費用を十分賄う金額となるように記載して下さい。***

***【注意点】***

***・助成金の全額が実績払い（後払い）であることを前提として、全額を自社で調達する場合の資金計画を記入して下さい。***

***（例:「助成事業の総費用」9000万円のうち「助成金交付提案額」が6000万円の場合であっても、***

***自社で9000万円を負担する場合の資金計画を記入）***

***・資金計画について、具体的に資金調達の時期を記入して下さい。※必要な経費をいつ、どこ（自社、銀行、ベンチャーキャピタル等）から、どのように調達するか***

***【以下の書類の添付は任意です。】***

***・自己資金で賄う費用がある場合には、金融機関が発行する残高証明書を添付して下さい。***

***・金融機関等から資金を調達する場合、証明書又は覚書等があれば、下記【具体例】を参考とし、その写しを添付して下さい。***

***【具体例】***

***①金融機関等からの貸付決定を証する書面。***

***②ベンチャーキャピタル等との投資契約書（或いは、それに類する書面）。***

***③金融機関等支店長名による融資証明〔様式例としては提案書様式3の融資証明を参照のこと〕。***

***④金融機関等支店長名又はベンチャーキャピタルによる推薦書〔様式例としては提案書様式3の推薦書の様式を参照のこと〕。***

***⑤①～④に類する書類（各金融機関が定める様式の証明書や紹介状、支援状況報告書、覚書等）***

***なお、本証明書類をもってＮＥＤＯが金融機関等に融資・投資等の実行について保証を求めることはありません。また、上述の提出資料に関し、必要に応じて、照会又は追加資料の提出を求める場合があります。***

## 6. 企業化計画

（添付資料3　企業化計画書に記載）

## 7. 期待される効果

***助成事業終了後、橋渡し研究機関との連携により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、簡潔に説明してください。***

## 8. 機構が設定する基本計画を達成するための有効性

***本事業のねらいである、新たな事業や雇用の創出、イノベーション人材の育成について、貢献が期待できる内容等があれば記載して下さい。***

（注）

　 1. 助成金の交付提案額については、千円未満の端数を切り捨てること。

　 2. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とし、縦位置とすること。

（添付資料2）

# 助成事業実施計画書

## 1. 事業期間における研究開発の目標

### (1)研究開発の目標（実用化時の最終目標も含め記載して下さい）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 助成事業期間中の達成目標と手段 | 助成事業期間終了後から実用化までの達成手段 | 実用化時の最終目標 |
| ***目標１*** | ***パイロット実験により各種触媒の比較データを取得し、反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する。******（担当：○○（株））*** | ***運転条件の最適化及び安定操業制御システムを開発することにより、最終目標を達成する。*** | ***反応効率９５%以上を安定して達成する。*** |
| ***目標２*** | ***生成物重量比、反応温度、撹拌速度について最適な反応条件を探索し、生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。******（担当：○○大学）*** | ***最適な反応条件は○○大学で設定する。*** | ***生成物の純度を９９%以上とする。*** |
| ***目標３*** |  |  |  |
| ***目標４*** |  |  |  |

***目標の項目数は、必要に応じて追加してください。***

### (2)上記目標設定の理由

***上記目標を設定した理由について、できるだけ図表を用いてわかりやすく記入して下さい。***

***助成事業期間中の達成目標と実用化時の最終目標を分けて記載して下さい。***

### (3)橋渡し研究機関の役割分担の必要性

***当事業における橋渡し研究機関との共同研究の意義を具体的に理解できる様に記載して下さい。***

***また、共同研究先が高額（200万円以上）の装置等を購入する場合は、その必要性を説明して下さい。***

## 2. 事業期間における研究開発の内容

***「助成事業期間中の達成目標」に記載した内容について、各項目における実施内容を具体的かつ詳細に記入して下さい。***

***目標を達成するために共同研究先の橋渡し研究機関が果たす役割を具体的かつ詳細に記入して下さい。***

***目標毎の実施内容について、できるだけ図表を用いてわかりやすく記入して下さい。***

***記載例）***

***目標１：　　反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する。***

***実用化開発項目：　　・・・・・・・***

***実施内容：　　実用化開発項目ア）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***実用化開発項目イ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***目標２：　　生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。***

***実用化開発項目：　　・・・・・・・***

***実施内容：　　実用化開発項目ウ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***目標３：　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***実用化開発項目：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***実施内容：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***目標４：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***実用化開発項目：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***実施内容：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

## 3. 事業期間中の研究開発日程

＜事業期間＞

　　　　　開始年月日　　　　　　 交付決定通知書に記載する事業開始の日から

　　　　　終了予定年月日　　　　 ２０２０年３月３１日

 　延長した場合の終了予定年月日 事業開始の日から最長で２０２１年２月２６日まで

**実用化開発日程表**

|  |  |
| --- | --- |
|  　　　年度研究開発項目 | ２０１９年度 |
| ４月～６月 | ７月～９月 | １０月～１２月 | １月～３月 |
| ***課題1******項目ア（○○(株)）******項目イ（○○(株)）******課題2******項目ウ（△△大学)******課題3******項目オ（○○(株)）******課題4******項目カ（△△大学)*** |  | ***仕様打合せ******評価法******1次評価******試作*** | ***2次評価******試作******◆評価******試作*** | ***3次評価******◆判断******試作*** |

|  |  |
| --- | --- |
|  　　　年度研究開発項目 | ２０２０年度 |
| ４月～６月 | ７月～９月 | １０月～１２月 | １月～３月 |
| ***課題1******項目ア（○○(株)）******項目イ（○○(株)）******課題2******項目ウ（△△大学)******課題3******項目オ（○○(株)）******課題4******項目カ（△△大学)*** | ***◆評価******試作******仕様打合せ******◆評価******試作*** | ***試作******試作******◆判断*** | ***◆評価******◆評価******試作*** | ***◆評価******◆判断******試作*** |

***上記表では、事業開始を2019年8月から開始という想定で日程を作成して下さい。***

## 4. 助成事業に要する資金及び費用の内訳

（別紙２に記載）

（注）

1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とすること

（添付資料3）

# 企業化計画書

## 1. 研究開発を行う製品・サービス等の概要

### (1)内容

#### 想定する事業の概要

どのような事業をしようとしているのか。顧客のペイン(必ず解決しなければならない強いニーズのある課題)と御社のソリューション（そのペインの解決策）、だれが代金を払うのか(見込み顧客)等を簡潔に記入して下さい

###  (2)用途（販売予定先）

#### 想定顧客とそのペイン

***想定顧客はだれか。また、想定顧客の漠然としたニーズ(あったらいいなと言う程度)ではなく、具体的な顧客のペイン（痛みを伴うほど強いニーズ）と、何を解決しようとしているのかを記入して下さい。***

## 2. 研究開発への取組

### (1)研究開発を考えるに至った経緯（動機）

***実用化開発を目指した背景・根拠についてビジネス面を中心に記入して下さい。***

***特に、橋渡し研究機関と連携に到った理由とその連携が実用化に大きなメリットがあることを、具体的な根拠とともに記載して下さい。***

### (2)事業として成功すると考えた理由

#### ①　ビジネスプラン面での優位性

##### (i)コアとなる技術シーズ

想定顧客のペインに対して、どのような技術で、顧客のペインを解決しようとしているのかを記入して下さい。

また、その技術が御社の提供するどのような製品に組み込まれて新たな価値を生むのかを分かりやすく説明してください。

##### (ii)競争優位性の確保

***ノウハウ創出、維持や、ブランド戦略など、競争力を維持できる戦略と効果について記入して下さい。***

#### ②　実用化体制

***本助成事業期間終了後の事業化に向けた体制（単なる研究開発体制ではなく、事業部等の関与が判るように）を図示して下さい。なお、体制には必ず事業化責任者（事業化時に中心となる担当者（あるいは責任者））の方の所属、役職、名前等を記入し、図中に「※」を付して下さい。***

***協力会社・販売代理店等の社外体制も図に含めて下さい。（想定を含む）***

製造：△△工業

販売代理店：　　　△△（株）

協力会社：○○工業

### (3)事業化のスケジュール

***本助成事業期間終了後概ね３年以内で実用化が可能な具体的計画を記入して下さい。***

***本助成事業期間終了後５年間の事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な事業化の段階に区分し、事業化の各段階が明瞭となるよう線表で記入して下さい。***

***事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記入して下さい。***

***また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入して下さい。***

***（記入例）***

******

## 3. 市場の動向・競争力

### (1)市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

#### ①ターゲットとなる市場規模

***現在から本助成事業期間終了後５年経過迄で想定される国内と海外の市場規模推移を示し、その根拠及び出典を記入して下さい。できるだけ図表などを用いてわかりやすく説明して下さい。***

#### ②想定シェア

***現在から本助成事業期間終了後５年経過迄で想定されるシェア推移の見込みとその根拠を示してください。***

***また、シェア獲得の方法（マーケティング戦略等）を記入して下さい。***

***開発製品・サービスが既存市場における提案者のシェア拡大に貢献するのか、新たな市場を創出するのかを記入して下さい。新たな市場を創出する場合は、市場立ち上げの時期及び立ち上げに関するリスクと対策を記入して下さい。***

### (2)競合が想定される他社の開発動向とそれに対する優位性の根拠

#### ①競合他社の製品・サービス等

***競合が想定される他社の製品・サービスと本開発製品との性能及び価格等に関する情報を示して下さい。***

#### ②ベンチマーク

***現状の他社の解決法と欠点、課題は何か。***

競合が想定される他社の製品・サービスと本開発製品との性能及び価格等に関する比較表を作成し、本開発製品の競争力の根拠を記入して下さい。

***想定した顧客のペインに対して、現状の解決策（競合他社のソリューションなど）は何で、どこにまだ不満があるのかを記入して下さい。***

***どこを解決・改善すれば買ってくれるのかを記入してください。（評価、要求スペック、価格等を具体的に挙げて記入して下さい。***

### (3)価格競争力

***競合製品・サービスの市場価格と自社製品価格の比較、損益分岐点など、価格競争力の算出根拠を記述してください。***

***できるだけ図表などを用いてわかりやすく説明して下さい。***

## 4. 売上見通し

### (1)売上見通し（単位：百万円）

販売開始後５年経過迄の売上と収益の見通しを記入して下さい。また、販売単価、販売数、原価など、売上と収益の算出根拠を具体的に展開して記入して下さい。

***販売単価 販売数 売上 製品原価 　　収益（粗利）　投資***

***例：１年目（2021年度）○○万円　○○○個 ○○百万円 ○○百万円 　○○百万円　○○百万円***

***２年目（2022年度）○○万円　○○○個 ○○百万円 ○○百万円 　○○百万円　○○百万円***

***～～***

***５年目（2025年度）○○万円　○○○個 ○○百万円 ○○百万円 　○○百万円　○○百万円***

### (2)売上見通し設定の考え方（算出の基本となる製品、サービス等の予定価格等を具体的に記述すること。）

***（１）で設定した売り上げ見通しの根拠を、算出根拠等を含め具体的に説明してください。***

（注）

1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とし、縦位置とすること。